

令和3年度 学力スタンダード指導計画・報告書

教科：(公民)科目：(政治・経済) 対象：(第3学年1組～6組)

科目担当者：経済分野(1組：平出明弘^印)(2組：山本治輝^印)(3組：平出明弘^印)(4組：平出明弘^印)(5組：山本治輝^印)(6組：山本治輝^印)政治分野(1組：北浦啓^印)(2組：石黒裕樹^印)(3組：石黒裕樹^印)(4組：北浦啓^印)(5組：北浦啓^印)(6組：北浦啓^印)

教科・科目の 指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・政治と経済の基本となる考え方やしきみ、政治と経済の代表的な課題について理解する。 ・良識ある社会の一員として、社会の課題を解決していこうとする態度をもつ。 ・時事問題についての理解を深める。
----------------	--

	高校入試等の分析結果・前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	1 学年の現代社会で政治・経済に関心をもつ生徒が多く、意欲的に授業に取り組んでいた。だが、その反面、現代社会で身に付けるべき基礎的事項が十分に定着していない者も少なくない。	1 高校卒業までに学習する政治経済の基本的事項について、繰り返し学習する機会を授業時に確認する機会を設ける。 2 授業で扱う事象は必要最小限の分量にとどめ、基礎的知識や技能の確実な定着を図る。 3 政治経済の問題について、身近な事例を取り上げ、生きた実践的な知識、社会事象の思考力、課題解決能力を育成する。	1 内容を精選し、社会において必要とされる基礎的・基本的内容の習得を図る。 2 教材を工夫することにより、わかりやすい授業を展開することで生徒に興味・関心をもたせる。 3 授業で学んだ基礎的・基本的内容について復習を行い、定着を図る。

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			